

「森井もとし」後援会からのお知らせ

さくらんぼ狩り・日帰りバス旅行のご案内

さくらんぼ
のお土産付き

今回は、美しく神秘的な光苔の自生する宝積山光前寺に立ち寄り、昼食に信州米豚を堪能した後、アルプス山脈が展望できる道の駅「花の里いいじま」や信州栗の菓工房でお買い物。最後にさくらんぼ狩りを体験します。さくらんぼは食べ放題です。さあ、何粒食べられるでしょう?!

旅行日 6月11日(火)

旅行代金 12,000円

申込締切 5月17日(金)

旅行代金
振り込み口座

ゆうちょ銀行
店番:218
普通口座:7469711
口座名:森井もとし事務所

行程 守山各地(7:00頃)→守山スマートIC→内津峠PA→駒ヶ根IC→駒ヶ根・光前寺(参拝)→駒ヶ根・ピアンデさくら亭(昼食)→信州栗の菓工房・道の駅「花の里いいじま」(お買い物)→南信州・さくらんぼ狩り(食べ放題)→松川IC→内津峠PA→守山スマートIC→守山各地(18時頃)



住宅補助金活用セミナー開催します

住宅補助金ってお得なの?耐震改修はどうしたら?住宅会社も知らない補助金について住宅流通専門家がお教えします。

日時:5/16(木) 13時半~15時 参加費:無料
場所:森井もとし事務所
※予約制:定員になり次第締め切らせて頂きます。
お申し込み・お問合せは森井事務所まで



もりもりウォーク同好会のご案内

毎月名古屋市内のウォーキングコースをのんびり巡るウォーキング同好会です。お気軽にご参加ください。

4月17日(水)▶小幡・川村コース 古跡を訪ねます(守山区)4.5km 9:30 守山区役所 集合~12:00頃 ゆとりーとライン白沢溪谷駅 解散

5月15日(水)▶矢田川緑地・天神橋緑地を散策(東区)4km 9:30 名城線砂田橋駅3番出口 集合~12:00 上飯田線上飯田駅 解散

6月19日(水)▶長久手古戦場公園を散策(長久手市)4.5km 9:30 東山線藤ヶ丘駅 集合~12:00 頃リニモはなみずき通り駅 解散

7月17日(水)▶志段味・東谷山の歴史と緑を巡ります 3.9km 9:00 ゆとりーとライン中志段味バス停 集合~12:00頃 ゆとりーとライン白沢溪谷駅 解散

申込方法 TEL 052-796-7311 FAX 052-796-7312

- ◆ 森井もとし事務所にTelにて予約ができます。(受付 月~金 10:00~17:00)
- ◆ 森井もとし公式LINEアカウントから予約もできます。
- ◆ 下記、申込欄に記入しFAXして頂いても承ります。

参加イベント	代表者氏名	ご住所	ご連絡先電話番号
☐ バス旅行 ☐ セミナー ☐ もりもりウォーク	様	〒	
参加人数	他	名	



森井もとし
公式LINE

発行元

森井もとし事務所

〒463-0015 名古屋市守山区西島町1-1 森井もとし 検索

電話 052-796-7311 FAX 052-796-7312 E-mail info@morii.org



2024
春号

あいち県政レポート

愛知県議会議員 声が形になる県政!

森井もとし

あいち民主県議団



空高く舞い上がる龍のごとく、
勢い盛んに愛知を成長・発展させる

「龍躍愛知」予算で成長戦略を後押し!

令和6年度当初予算は、リニア大交流圏の構築や産業首都あいちの推進、次世代を創る教育・人づくりなど、「With/afterコロナの成長戦略」を基調とした内容になっています。また、全面開園したジブリパークのある愛知の魅力を国内外への発信、10月にオープンする「Station Ai」や2026年に開催予定のアジア・アジアパラ競技大会をはじめとした愛知のみならず日本の未来をつくるプロジェクトを着実に推進する内容となっています。

トピックス 10月に「STATION Ai」がオープンします!

愛知県では、「Aichi-Startup戦略」の中核となる「STATION Aiプロジェクト」を推進しており、スタートアップの創出・育成・展開・誘致を図るスタートアップ支援拠点「STATION Ai」が10月、鶴舞公園南側

にオープンします。これまで、世界のスタートアップ支援機関・大学等との間に築いてきたネットワーク等を活用し、世界有数のスタートアップ・グローバルコミュニティの形成を進めます。



施設概要

事業計画地	名古屋市昭和区鶴舞1丁目
延床面積	約23,600㎡(地上7階)
利用者数	1,000社 ※日本最大
施設機能	スタートアップ、パートナー、企業向けオフィス、テックラボ、イベントスペース、あいち創業館、宿泊施設、託児施設、カフェ・レストラン等

※「STATION Ai」開業時には、名古屋駅付近と「STATION Ai」間を自動運転で結ぶ定期運行を開始します。

令和6年度 県予算のポイント

県税収入は、好調な企業業績を反映した法人二税の増収を見込むが、人件費や扶助費などの歳出増加に伴う収支不足が見込まれ、単年度の歳入だけで歳出を賄うことが出来ず、多額の基金取崩しに依存する厳しい財政状況が継続している。

歳入

令和6年度の県税収入は、前年度から440億円増の1兆2,907億円。法人二税では、好調な企業業績を反映し399億円の増を見込むものの、海外景気の下振れ、物価上昇、中東地域をめぐる情勢などに留意する必要がある。

歳出

人件費は、給与改定や定年年齢引上げの影響による退職手当の増加などにより大幅に増加。また、医療・介護・子育てなどの扶助費は、2025年にかけて団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となることに加え、子ども・子育て支援の強化などに伴い、大幅に増加している。

見どころ

住宅の耐震化を急ぐ

能登半島地震では新耐震基準を満たした住宅にほぼ倒壊被害が出なかったという教訓も踏まえ、県では住宅・建築物の耐震、改修等への費用補助を継続。住宅の耐震診断では非木造住宅で補助率2/3(木造住宅は所有者負担なし)、耐震改修では100万円を上限に事業を行う市町村へ補助を実施し、県内に約27.3万戸存在する耐震性が不十分な住宅について2030年度までの解消を目指す。

見どころ

運転免許更新予約制始まる

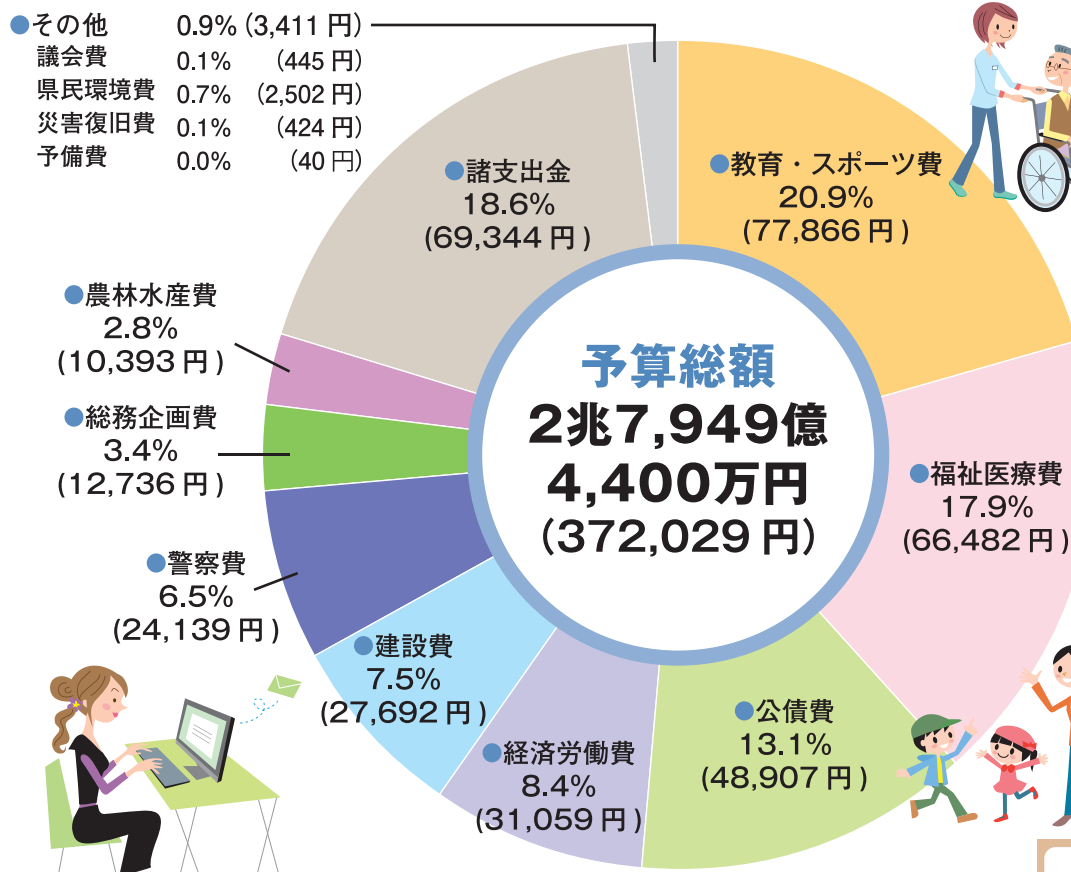
運転免許試験場、東三河運転免許センター及び運転免許更新事務を取り扱っている警察署・幹部交番では、運転免許更新が予約制となります。
(予約制度の対象となる方)

運転免許の講習区分が「優良」「一般」「違反」「初回」の方が対象となります。高齢者講習等受講済みの方は予約制度の対象ではありませんので、予約なしで更新手続きができます。詳しくは事前に届く「運転免許証、運転免許証更新連絡書」(更新ハガキ)をご覧ください。

目的別歳出の状況(一般会計)

(県民一人当たりの歳出額)

※2023年1月1日 住民基本台帳人口 7,512,703人



見どころ

女性の活躍促進/CNの実現に向けて

中小企業における女性の採用に特化した取組ガイドの作成や女子大学生と女性活躍推進企業との交流会開催などの女性の活躍促進プロジェクト事業を実施する。

環境分野では、あいち地球温暖化防止戦略2030(改定版)に基づき、あらゆる分野の脱炭素化を進める。また、資源投入量と廃棄物発生量を限りなく小さくするサーキュラーエコノミーへの転換を図る取組を推進する。

見どころ

介護現場における生産性向上への取組推進

「団塊の世代」がすべて75歳以上となる2025年。介護サービスの更なる需要増が見込まれる中で介護人材不足は深刻化。人材確保を進める一方、介護現場における生産性向上を推進する為、介護事業者に対してワンストップ型の支援を行う「介護生産性向上総合センター(仮称)」を新たに設置。生産性向上を通じて、高まる需要へ対応できる体制づくりを推進。

見どころ

すべての県立高校の体育館に空調設備

フレキシブルハイスクールや夜間中学校の設置、2025年度からスタートする中高一貫校の準備などを含め、あいちの多様な学びに向けての予算が提案された。教員の働き方改革、休み方改革プロジェクトの推進なども併せて提案された。また、子どもたちの教育環境の改善、酷暑対策として、4月から3ヶ年をかけて全県立高校の体育館に空調設備を整備することを決めた。

見どころ

2025年愛知万博20周年記念事業を実施

愛知万博開催20周年を迎えるにあたり、愛知万博の理念と成果の再認識・継承を図り、愛知県の魅力を国内外に向けて発信することを目的として、20周年記念事業を実施します。

また、「魔女の谷」開園により、全5エリアが開園するジブリパークと連携して旅行者を迎え入れる雰囲気醸成するとともに、県内の観光資源の魅力を広くアピールし、県内への宿泊や周遊観光の促進に取り組みます。

大村知事に聞きました



Q. 県民意識調査の結果を踏まえ、「あいちウィーク」の認知度を上げ、盛り上げていくための取組は?



「あいちウィーク」は、昨年「あいちウィーク」では、市町村や民間事業者で450件の取組を実施した。県民意識調査では、「あいちウィーク」の認知度は、子供を持つ方の約7割に対し、20歳代では約4割に留まっており、来年度は、インフルエンサーの活用や大学等と連携し若い世代に向けた周知を図っていく。

またあいちウィークを知っている方で、小学生の子を持つ方の約3割が休暇を取得しており、「休み方改革マイスター企業認定制度」の一層の周知を図るとともに、特別休暇として「あいちウィーク休暇」を設けている認定企業を、県のHP等により情報発信し、休暇を取得しやすい職場環境づくりを企業に働き掛けていく。県ならではの特別な期間となるよう、毎年の努力を積み重ね、県民の皆様とともに育てていく。

Q. 経済の好循環を促すため、労務費を含め中小企業が適正な取引・価格転嫁等を進めるための取組は?

「適正な取引価格転嫁を促し地域経済の活性化に取り組む共同宣言」を踏まえ、セミナーの開催やパートナーシップ構築宣言企業に対する優遇措置など進めているが、依然として約半数の企業が5割未満しか価格転嫁ができていないため、共同宣言機関・団体と共に、「取引適正化価格転嫁推進フォーラム」を開催し価格転嫁等が行われる社会風土の醸成等にさらに取り組む旨の決意表明をした。また、公共工事設計労務単価などの公表資料の活用について、県の相談窓口等でも周知したいと考えている。

今後ものづくり愛知を支えるサプライチェーン全体の共存共栄、中小・小規模事業者の稼ぐ力の向上、地域経済の更なる活性化につながる取組を進める。

ジブリパークに「魔女の谷」エリアが完成
全5エリアが完成し全面開園しました。



この度、新たに加わった「魔女の谷」は、「魔女の宅急便」、「ハウルの動く城」、「アヤと魔女」などの作品をモチーフにしたヨーロッパ風の空間で、作品に登場する乗り物や動物たちを配した遊具「メリーゴーランド」と「フライングマシン」など、見どころと楽しさが詰まったジブリパーク最大のエリアです。

入場チケットは入場2カ月前の毎月10日14時に発売開始します。詳しくはジブリパーク公式HPでご確認ください。



ジブリパーク
公式 HP